

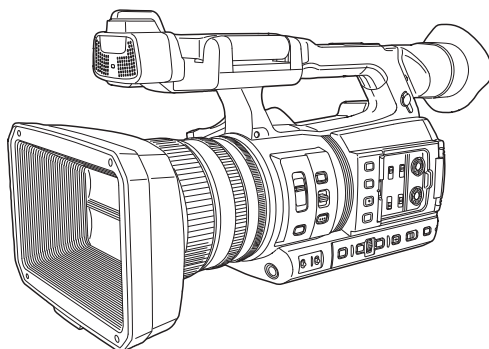
Panasonic®

取扱説明書 簡易版

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AG-CX350**

micro
P2



HE Advance™
covered by patents at patent.us.accessadvance.com

HDMI™

SD™ V90
XC II

AVC **ULTRA**

AVCHD™
Progressive

DOLBY AUDIO™

**簡易版
取扱説明書**

詳細は、当社Webサイト（<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>）に掲載されている取扱説明書を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5～9ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

商標などについて

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- AVCHD, AVCHD Progressive、および AVCHD Progressive のロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel®, Pentium®, Celeron® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Mac および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone/iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- WPA™, WPA2™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- NDI® は NewTek, Inc. の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- 本製品でメモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本製品に関するソフトウェア情報

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 6 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれていません。

これらのライセンスについて詳しくは、ライセンス条件を参照してください。

ライセンス条件は、次の方法で表示できます。

- [その他] メニュー → [USB デバイス] → [サービスモード] → [はい] を選択します。
パーソナルコンピューターで認識された外付けドライブにある、「LICENSE.TXT」を選択してください。

また、これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

GPL/LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本機に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- 本書内の製品姿図、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 表記について

- [] の語句は液晶モニターに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、特に区別しない限り「SD カード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴがついたメモリーカードを「microP2 カード」と記載しています。
- SD カードと microP2 カードは特に区別しない限り、「メモリーカード」とのみ記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

もくじ

安全上のご注意	5
ご使用前に	10
付属品	14
初めて電源を入れたとき	15
[AREA SETTINGS]	15
[TIME ZONE]	16
[CLOCK SETTING]	17
本機でできること	18
メモリーカードに記録	18
外部機器との連携	18
ネットワークに接続	20
USB テザリング接続	20
各部の名称 (カメラ本体)	21
左面部	21
右面部	22
前面部	25
後面部	26
上面部	28
電源の供給	30
バッテリーの充電	30
バッテリーの取り付け / 取り外し	32
付属品の取り付け	34
グリップベルトの調整	34
アイカップの取り付け	34
メニューの基本操作	35
メニューの構成	35
よくある質問	36
本機搭載ファームウェアのアップデート	37
保証とアフターサービス (よくお読みください)	38
修理を依頼される時	38
定格	39
総合	39
AC アダプター	39
バッテリーチャージャー (AG-BRD50)	39
バッテリーパック (AG-VBR59)	40

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- ⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては（11 ページ）をご参照ください。
- ⇒ 万一、液もれが起ったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用のバッテリーチャージャーで充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

バッテリーチャージャーは…








- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）






カメラレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する


 電源プラグ を抜く	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケー スが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき (そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。) ⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届 くようにしてください。 ⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。 ⇒ 販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乗り物を運転しながら使わない (事故の誘発につながります。) ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。 ■ 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない (火災の原因になります。) ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。 ■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど※の原因になり ます。) 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 ※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターやバッテリーチャージ ジャーなどの電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災や感電の原因になります。) ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでく ださい。

⚠ 警告 (つづき)

ACアダプター、バッテリーチャージャーは…


	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACコード・電源プラグを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] ■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない ■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない (感電・火災の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電・火災の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。 ■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。 ■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)

小さな付属品は…




	<ul style="list-style-type: none"> ■ メモリーカード (別売品)、マイクホルダー用ねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
--	--

⚠ 注意

カメラレコーダーは…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

カメラレコーダーや付属品は…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。) (重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ コードやショルダーベルトを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない (足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターやバッテリーチャージャーの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

■ 本機で使用できるバッテリーについて（2024年4月現在）

本機で使用できるパナソニック製バッテリーはAG-VBR59（付属品）およびAG-VBR89、AG-VBR118、VW-VBD58です。

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のおすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

- ～ AC（交流）
- === DC（直流）
- | 電源 ON
- ⏻ スタンバイ
- ⏹ クラスII 機器（二重絶縁構造）

この装置は、クラスB 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用前に

■ ご使用前には、必ず内蔵電池が消耗していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。

内蔵電池が消耗していると、本機の内蔵時計の日付が初期化され、2019年1月1日になります。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネール画面で正しく表示されないことがあります。

内蔵電池を充電するときは、カメラ本体に AC アダプターを接続するか、バッテリーを取り付けてください。

約 24 時間、そのままの状態にしておくと、約 4 か月間、カメラ本体に設定された日付 / 時刻を保持します。(電源スイッチを \llcorner (入) にしても、充電されています)

タイムゾーン、日付 / 時刻の設定方法について、詳しくは [TIME ZONE] (16 ページ)、および [CLOCK SETTING] (17 ページ) を参照してください。

■ 油煙やほこりの多い場所では、本機を使わないでください。

微粒子などが製品内部に入ると、性能が劣化するおそれがあります。

特に舞台演出用のスモークなどを使用した環境では、お気をつけください。

■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、カメラに水が入らないようお気をつけください。

カメラやカードの故障の原因になります。(修理できなくなることがあります)

■ 磁気を発生する機器 (テレビ、テレビゲームなど) からカメラを遠ざけてください。

● テレビの上やその周辺でカメラを使用しないでください。テレビから放出される電磁波で、カメラの画像や音声にひずみが生じることがあります。

● スピーカーや大型モーターから発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。

● マイクロコンピューターの上やその周辺でカメラを使用しないでください。マイクロコンピューターから放出される電磁波で、カメラの画像や音声にひずみが生じることがあります。

● 磁気を発生する機器により、カメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなることがあります。この場合、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、AC アダプターをコンセントから抜きます。次に、再度、バッテリーを取り付けるか、AC アダプターを接続します。その後、カメラの電源を入れます。

■ カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音声に悪影響が出るおそれがあります。

■ 海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようお気をつけください。

砂やほこりでカメラやメモリーカードが破損することがあります。(メモリーカードを出し入れするときにはお気をつけください)

■ AC アダプター、バッテリーチャージャーとバッテリーについて

● バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できなかったりすることがあります。

● 充電ランプがオレンジ色で点滅し続ける場合は、バッテリーやバッテリーチャージャーの端子部にゴミや異物、汚れが付着していないかを確認し、正しく接続し直してください。端子部に付着したゴミや異物、汚れを取り除く場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

● バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするときは、充電ランプがオレンジ色に点滅します。その後、バッテリーが充電可能な温度になると自動的に充電が始まります。

● バッテリーが適温でも充電ランプがオレンジ色で点滅し続けるときは、バッテリーまたはバッテリーチャージャーが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

● ラジオ (特に AM 受信中) の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は、1 m 以上離してください。

- 使用中、AC アダプターやバッテリーチャージャーの内部で発振音があることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。(接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています)
- AC アダプター、バッテリーチャージャー、バッテリーの端子部を汚さないでください。機器をコンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)へ容易に手が届くようにしてください。

■ メモリーカードについて

- 長時間ご使用になると本機表面やメモリーカードが多少熱くなりますが、故障ではありません。
- メモリーカードのラベルに記載されているメモリー容量は、次の容量の合計です。
 - 著作権を保護・管理するための容量
 - 本機やパーソナルコンピューターなどで通常のメモリーとして利用可能な容量
- メモリーカードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 次のような場合、メモリーカードのデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
 - 電気ノイズや静電気
 - 本機やメモリーカードの故障
- メモリーカードにアクセス中(カード1 アクセスランプ/カード2 アクセスランプがオレンジ色に点滅)、次の動作はしないでください。
 - メモリーカードを取り出す
 - 本体の電源を切らずにバッテリーや AC アダプターを外す
 - 振動や衝撃を与える

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。詳しくは、一般社団法人 JBRC の Web サイトを参照してください。
<http://www.jbrc.com>

■ 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 使用済み充電式電池を分解しないでください。



■ カメラを持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラを持ち運ぶときは、ハンドルかグリップを持ち、ていねいに取り扱ってください。

■ カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ 使い終わったら、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いてください。

■ バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度に影響されます。バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、約 5 分しか使用できません。

ご使用前に

バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

■ 使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラからバッテリーを確実に外してください。

(バッテリーを取り付けたままにしておくと、カメラの電源を切っても、微量電流が消費されます) 長期間バッテリーを取り付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

電源が入った状態のまま、バッテリーを取り外さないでください。

電源を切り、動作ランプが完全に消えてから、バッテリーを取り外してください。

■ バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部に、ほこりや異物が付かないようにしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラに入れたり、バッテリーチャージャーに取り付けたりしないでください。カメラやバッテリーチャージャーを傷めることがあります。

■ メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。

廃棄 / 譲渡するときは、次の方法でデータを完全に消去することをお勧めします。

- メモリーカード本体を物理的に破壊する
- 市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトウェアなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する

メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

■ 液晶モニターおよびビューファインダーについて

- 液晶モニターに、同じ映像や文字を長時間表示したままにしないでください。画面に映像の焼き付きが発生することがあります。数時間電源を切った状態にしておくと、元に戻ります。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターおよびビューファインダーモニター(有機 EL)のドットについては、有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 本機のビューファインダーは有機 EL を使用しています。そのため、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが発生することがあります。記録される映像には問題ありません。画面の消灯やアイセンサーを使うなどして、こまめに画面を切り替えてください。
- 液晶保護シートを貼ると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなったりすることがあります。

■ レーザー光線についての留意点

レーザー光線が MOS センサーに照射されると、MOS センサーを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

- 本機、およびメモリーカードの使用中に、万一これらの不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証についてはご容赦ください。
- 記録の前にカレンダー（内蔵時計の日付 / 時刻）とタイムゾーンを設定、または設定の確認をしてください。記録したコンテンツの管理に影響します。

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 1 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- 2 お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- 3 お客様による本機の分解、修理または改造（ソフトウェア的なものを含む）が行われた場合
- 4 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が記録、および、表示できないことによる不便・損害・被害
- 5 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 6 お客様による撮影映像（記録を含む）が何らかの理由（ネットワークのユーザー認証 OFF での使用を含む）により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- 7 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより、本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 2 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 3 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティー対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターやタブレット、スマートフォンなどが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、認証を利用し、認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は 8 文字以上かつ文字種類 3 種以上の異なる文字列を使用するなどして、第三者に推測されないようにする。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）を第三者の目に触れないよう、適切に設定および保管をする。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は、定期的に変更し、他のアカウント情報と同じものを使い回さない。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

■ セキュリティーについて

本機およびメモリーカードの盗難、遺失や放置、廃棄や譲渡時の取り扱いには十分お気をつけください。それらによる情報の漏えい、改ざん、消失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付属品

付属品の取り付け方など、詳しくは、取扱説明書（PDF/HTML）の「1章 概要」→「付属品」から、該当の説明を参照してください。

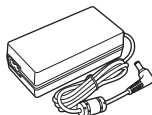
バッテリー（品番：AG-VBR59）（30ページ）



バッテリーチャージャー（品番：AG-BRD50）（30ページ）



ACアダプター（30ページ）

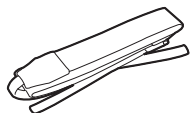


ACコード（30ページ）

- ACアダプター用



ショルダーベルト



マイクホルダー



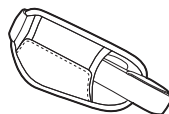
マイクホルダー用ねじ

- 長さ 12 mm（2本）



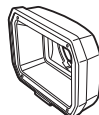
グリップベルト（34ページ）

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



レンズフード

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



アイカップ（34ページ）



NOTE

- ACコードキャップ（付属している場合のみ）および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

初めて電源を入れたとき

本機は、使用する地域が未設定の状態でお荷されています。

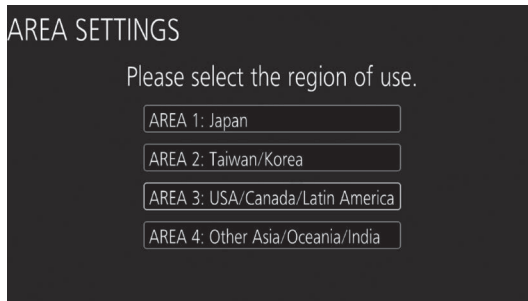
初めて電源を入れると、液晶モニターに [AREA SETTINGS] が表示されます。

案内に従って、[AREA SETTINGS]、[TIME ZONE]、[CLOCK SETTING] の順に設定してください。

- ここでは [AREA SETTINGS] を [AREA 3] に設定した前提に説明しています。
- 操作方法は、マルチダイヤルや <◀◀> ボタン、<■> ボタン、<▶▶> ボタン、<▶/||> ボタンで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

[AREA SETTINGS]

ご使用の地域を設定します。



- 1 カメラ本体に、充電済みのバッテリーまたは AC アダプターを接続し、電源スイッチを < | > (入) にする。

[AREA SETTINGS] 画面が表示されます。

- 2 使用する地域を選択する。

[AREA 1] : 日本

[AREA 2] : 台湾、韓国

[AREA 3] : アメリカ合衆国、カナダ、中南米地域

[AREA 4] : アジア地域 (日本、台湾、韓国以外)、オセアニア地域、インド

- 3 確認メッセージが表示されたら [YES] を選択する。

手順 2 で選択した地域に応じて初期化されます。本機は、自動的に再起動します。

[AREA SETTINGS] の設定が完了すると、[TIME ZONE] 画面が表示されます。

NOTE

- 一度設定すると、次回以降の起動時には [AREA SETTINGS] 画面は表示されません。
- 使用する地域を変更するときは、[オプション] メニュー → [AREA SETTINGS] で設定してください。

■ 各使用地域の設定内容

選択した地域によって、次の設定が異なります。

- [システム] メニュー → [システム周波数]
- [システム] メニュー → [記録フォーマット]
- [その他] メニュー → [時計] → [年月日の表示順]
- [音声] メニュー → [記録チャンネル設定] → [ヘッドルーム]
- [その他] メニュー → [LANGUAGE]

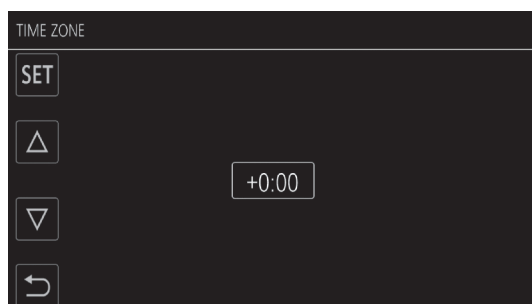
初めて電源を入れたとき

項目	[AREA 1]	[AREA 2]	[AREA 3]	[AREA 4]
[システム周波数]	[59.94Hz]	[59.94Hz]	[59.94Hz]	[50.00Hz]
[記録フォーマット]	[1080-59.94i/422ALL-I 100M]	[1080-59.94i/422ALL-I 100M]	[1080-59.94i/422ALL-I 100M]	[1080-50.00i/422ALL-I 100M]
[年月日の表示順]	[年 - 月 - 日]	[年 - 月 - 日]	[月 - 日 - 年]	[日 - 月 - 年]
[ヘッドルーム]	[20dB]	[20dB]	[20dB]	[18dB]
[LANGUAGE] *	[日本語] [English]	[English]	[English] [Español] [Français]	[English] [Español] [Français]

* [AREA 2] を選択したとき、[その他] メニューの項目に [LANGUAGE] は表示されません。

[TIME ZONE]

グリニッジ標準時からの時差を設定します。



1 時差を設定する。

2 [SET] を選択する。

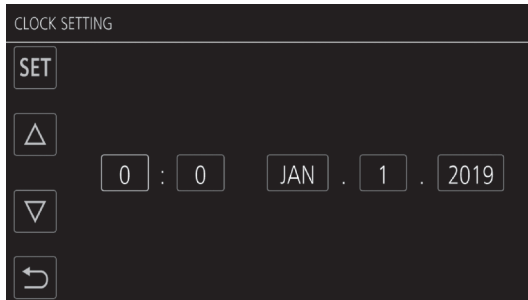
[TIME ZONE] の設定が完了すると、[CLOCK SETTING] 画面が表示されます。

NOTE

- ・タイムゾーンの設定に合わせて、カメラ本体の日時 / 時計の設定も変更されます。
- ・[その他] メニュー → [時計] → [タイムゾーン] でも設定できます。

[CLOCK SETTING]

年、月、日、時刻を設定します。



1 年、月、日、時刻を設定する。

2 [SET] を選択する。

設定が完了すると、液晶モニターにカメラ映像画面が表示されます。

NOTE

・ [その他] メニュー → [時計] → [時計設定] でも設定できます。

本機でできること

本機は、1.0 型センサーを搭載した業務用 4K ハンドヘルドカメラレコーダーです。

- 有効約 1503 万画素の高感度 1.0 型 MOS センサーを搭載
高感度モード時、F12 (59.94 Hz 時) / F13 (50 Hz 時) を実現
- UHD (3840×2160) 59.94p/50p 信号を量子化 10 ビットで高画質高効率にメモリーカードに記録可能
- ワイド端 24.5 mm (35 mm 換算値) と i ズーム約 32 倍 (UHD 記録のときは約 24 倍) のズーム、ハイブリッド手ぶれ補正 (ハイブリッド O.I.S.) を搭載
- 業務用に必要な入出力端子 (XLR 入力、SDI 出力など) に加え、ライブストリーミングや有線コントロールに対応する LAN 端子 (ギガビットイーサネット) も装備

メモリーカードに記録

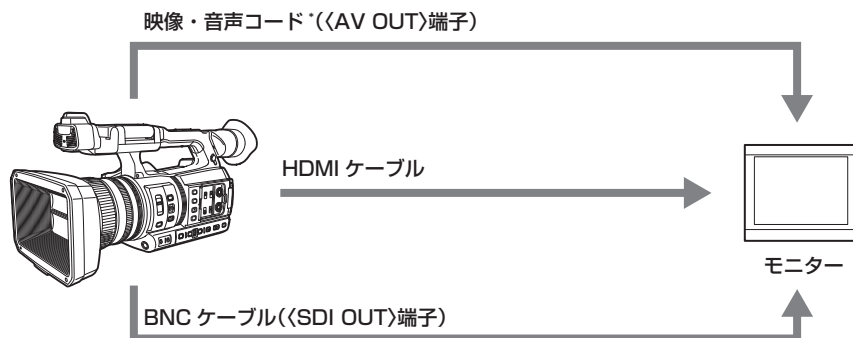
次のような記録ができます。

- P2 記録 (P2 MXF 対応)
- UHD、FHD 記録
(4:2:0 (10 ビット) MOV 記録 (HEVC) / 4:2:0 (8 ビット) MOV 記録 / 4:2:2 (10 ビット) MOV 記録)
- AVCHD 記録
- バリアブルフレームレート記録
(FHD 画質で 120fps/100fps 撮影に対応)
- サイマル記録
- リレー記録
- インターバル記録
- バックグラウンド記録
- プリレック
- 4ch オーディオ記録

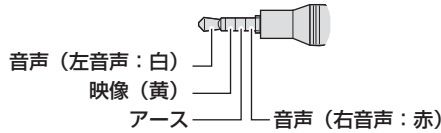
外部機器との連携

モニターとの接続

モニターと接続して、映像を出力します。



* 市販の映像・音声コード (4 極ミニプラグ) をご使用ください。
4 極ミニプラグの配線仕様をご確認ください。

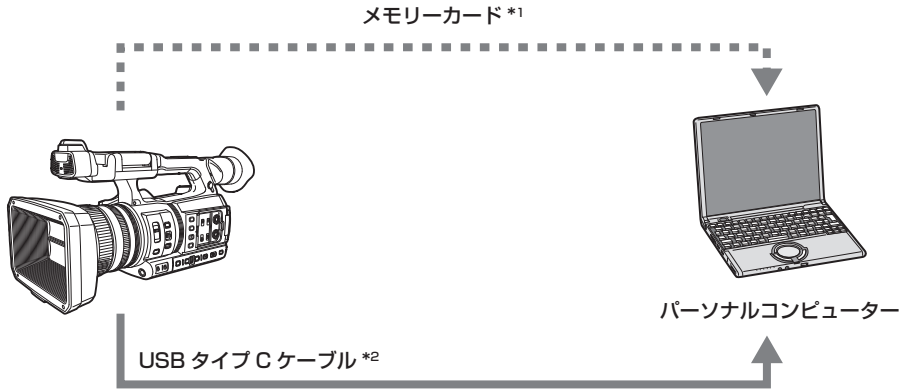


- HDMI ケーブル（別売品）は、4K/60P に対応した二重シールドケーブルをご使用ください。また、当社製の 4K/60P に対応した HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- 〈SDI OUT〉 端子に接続する BNC ケーブル（別売品）は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

カードリーダーモード

パーソナルコンピューターなどでノンリニア編集を行うためのデータ（ファイル）転送をします。

- 本機は USB 3.1（GEN1）に対応しています。



*1 メモリーカードは別売品です。本機には同梱されていません。

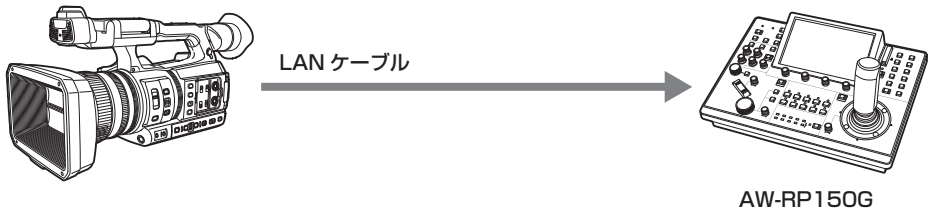
*2 本機に USB タイプ C ケーブルは同梱されていません。

市販の USB タイプ C ケーブルをご使用ください。なるべく 1.5 m 以内のケーブルのご使用をおすすめします。

本機からのバスパワー機能はありません。

リモートカメラコントローラー（AW-RP150G）との接続

リモートカメラコントローラー AW-RP150G（別売品）を LAN ケーブルで接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。



ネットワークに接続

有線 LAN 接続

- ・〈LAN〉 端子経由で、本機からストリーミング配信ができます。
- ・リモートカメラコントローラー (AW-RP150G) によるリモートコントロールができます。

NOTE

- ・本機とコントローラーまたはパーソナルコンピューターなどを接続するネットワークは、同一セグメントをお勧めします。
セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認してください。

ワイヤレス LAN 接続

本機の〈USB2.0 HOST〉端子に、本機に対応したワイヤレスモジュール（別売品）を取り付けると、ワイヤレス LAN に接続できます。

CX ROP アプリをインストールした iPhone/iPad や Android 端末から次の操作ができます。

- ・カメラステータスの確認
- ・カメラリモートコントロール（フォーカス、ズーム、画質設定、記録開始 / 記録停止などの記録制御とタイムコード、ユーザーズビットの設定）
- ・メニュー操作
- ・ストリーミング配信の開始と停止（USER ボタンに機能を割り当てている場合）

また、1 台の端末からの操作によって、最大 8 台のカメラから 1 台を選択してカメラリモートコントロールするマルチカメラ機能に対応しています。

本機に対応したワイヤレスモジュールおよび CX ROP アプリの操作について、詳しくは次の Web サイトのサポートデスク、またはアプリのオンラインヘルプを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

NOTE

- ・ [ダイレクト] で [5GHz] に設定しているときは、屋外での使用が禁止されています。（[ダイレクト] は iPhone/iPad や Android 端末から本機に直接アクセスするモードです。）

USB デザリング接続

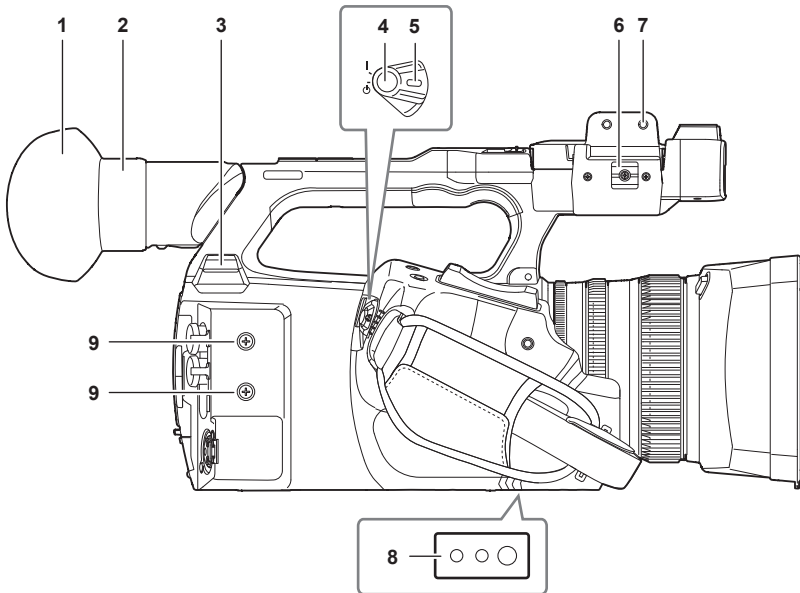
本機の〈USB2.0 HOST〉端子に、USB デザリング用端末 (iPhone/iPad や Android 端末) を USB ケーブルで接続すると、USB デザリング機能により、本機をインターネットに接続できます。

NOTE

- ・本機と接続確認済みの USB デザリング用端末について、詳しくは次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

各部の名称 (カメラ本体)

左面部



1 アイカップ

2 アイピース

アイピースを太陽に向けたままにしないでください。内部の機器が損傷するおそれがあります。

3 〈USB2.0 HOST〉 端子

本機に対応したワイヤレスモジュール (別売品) を取り付けると、ワイヤレス LAN で接続ができます。また、USB ケーブルで、本機と iPhone/iPad や Android 端末を接続すると、USB デザリングでネットワーク接続できます。

4 REC ボタン (グリップ側)

記録を開始、または停止します。
サムネールモードからのダイレクト撮影ができます。

5 電源スイッチ

電源の入 / スタンバイを切り替えます。
電源を入れるには、電源スイッチを **|** (入) にします。電源をスタンバイ状態にするには、電源スイッチを **⏻** (スタンバイ) にします。

6 マイクケーブルクランプ

外部マイクのケーブルを固定します。

7 マイクホルダー取り付け部

付属のマイクホルダーをマイクホルダー用ねじで取り付けます。

8 三脚取り付け穴

三脚を取り付けます。(底面)

● 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

各部の名称 (カメラ本体)

- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

9 アクセサリー取り付け穴

アクセサリを取り付けます。

アクセサリの重さは取り付け金具を含めて 2 kg 以下にしてください。

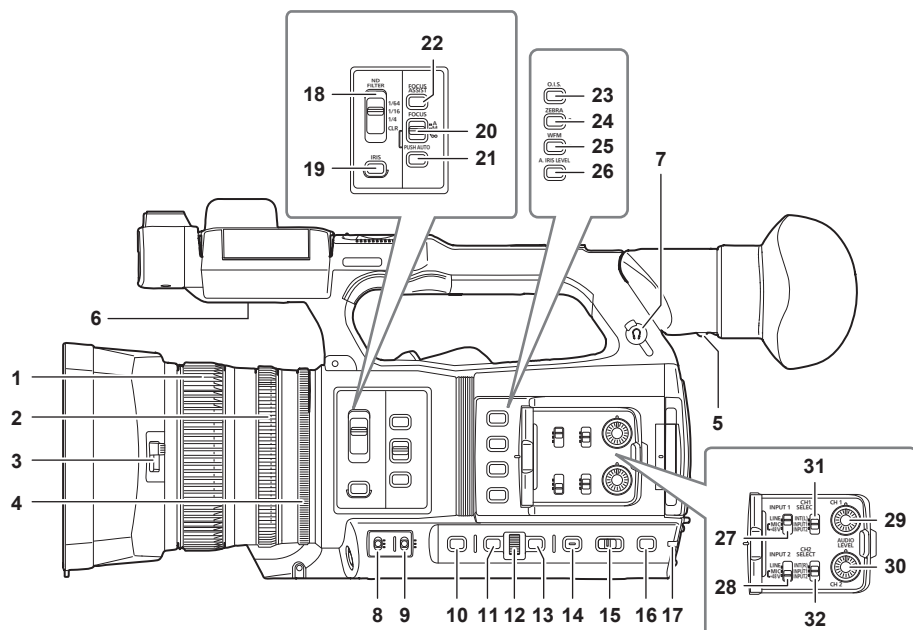
● 取り付け穴サイズ

- 取り付けねじサイズ: M3

- 取り付け穴深さ: 6 mm

- 取り付け穴ピッチ: 25 mm

右面部



1 フォーカスリング

〈FOCUS〉スイッチを〈M〉にしているときに、手で焦点を合わせます。

2 ズームリング

手でズーム操作をします。

3 レンズカバー開閉レバー

レンズカバーの開閉ができます。

4 アイリスリング

〈IRIS〉ボタンでマニュアルアイリスに設定しているときに、手でレンズ絞りを調整します。

5 視度調整レバー

ビューファインダー画面が見やすいように視度を調整します。

6 内蔵スピーカー

再生中の音声を出力します。

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

7 ヘッドホン端子

音声モニター用ヘッドホンを接続します。

8 <GAIN> スイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、画面の明るさを切り替えます。

9 <WHITE BAL> スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を選択します。

- <PRST>: ホワイトバランスをプリセット値に調整します。<AWB> ボタンを押すたびに、[3200K]、[5600K]、[VAR] が切り替わります。
- <A> / : 記憶されたホワイトバランスの調整値を使用するときに選択します。

10 <SHUTTER> ボタン

シャッターモードを切り替えます。

11 <MENU> ボタン

メニューを表示します。メニューを表示しているときに <MENU> ボタンを押すと、メニューを閉じます。

サムネール画面を表示中に押すと、サムネールメニューの操作画面が表示され、クリップの削除などができます。

12 マルチダイヤル

メニューを表示しているときに、メニューの移動、選択や設定をします。

また、サムネールの操作、マルチマニュアル機能の選択、各種操作アイコンの選択 / 決定にも使用します。

13 <EXIT> ボタン

メニューを表示しているときに、1 つ上の階層に戻ります。設定値を確定せずに <EXIT> ボタンを押すと、設定の変更は反映されません。

14 <DISP/MODE CHK> ボタン

タイムカウンター表示、タイムスタンプ、ゼブラパターン、マーカー以外の表示 / 非表示を切り替えます。

また、長押しすると、各種撮影機能の設定の情報、USER ボタンに割り当てた機能の一覧などの情報が液晶モニターに表示されます。ボタンを押すごとに情報ページが順番に切り替わります。

15 <AUTO/MANUAL> スイッチ

撮影時に、フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードを調整する方法を選択します。<AUTO> に割り当てる機能は [カメラ] メニュー → [オートスイッチ] で設定できます。

<AUTO> : 自動調整をします。(オートモード)

<MANU> : 手動調整をします。(マニュアルモード)

16 <SLOT SEL> ボタン / <USER 5> ボタン

記録対象、または再生対象のカードスロットを選択します。

また、USER ボタン (USER5) としても使用します。

17 リアタリーランプ

記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときなどに点滅します。

ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

18 <ND FILTER> スイッチ

被写体の照度に合わせて ND フィルターを選択します。

<CLR> : ND フィルターを使用しません。

<1/4> : MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。

<1/16> : MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。

<1/64> : MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

19 <IRIS> ボタン

レンズ絞りの調整方法を選択します。

20 〈FOCUS〉 スイッチ

フォーカス機能を選択します。

〈A〉：オートフォーカスモードになります。自動でピントを合わせます。

〈M〉：マニュアルフォーカスモードになります。フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。

〈∞〉：ピント距離を無限大に合わせたあと、マニュアルフォーカスモードになります。

〈FOCUS〉スイッチは、跳ね返りスイッチになっています。〈∞〉側に倒しても、〈M〉の位置に戻ります。

21 〈PUSH AUTO〉 ボタン

マニュアルフォーカスモードのとき、ボタンを押している間は自動でピントを合わせます。

22 〈FOCUS ASSIST〉 ボタン

[映像出力 / LCD / VF] メニュー → [フォーカスアシスト] → [フォーカスアシストスイッチ] で設定されたフォーカスアシスト機能の有効 / 無効を切り替えます。

23 〈O.I.S.〉 / 〈USER 1〉 ボタン

手ぶれ補正機能の有効 / 無効を切り替えます。

また、USER ボタン (USER1) としても使用します。

24 〈ZEBRA〉 / 〈USER 2〉 ボタン

ゼブラパターンの表示 / 非表示を切り替えます。

また、USER ボタン (USER2) としても使用します。

25 〈WFM〉 / 〈USER 3〉 ボタン

液晶モニターに表示する波形モニターの表示 / 非表示を切り替えます。

また、USER ボタン (USER3) としても使用します。

26 〈A.IRIS.LEVEL〉 / 〈USER 4〉 ボタン

オートアイリスレベル機能の有効 / 無効を切り替えます。

オートアイリスレベルの目標値は、[シーンファイル] メニュー → [オートアイリスレベル効果] で設定します。

また、USER ボタン (USER4) としても使用します。

27 〈INPUT 1〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 1〉 端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

〈LINE〉：ライン入力オーディオ機器を接続しているときに選択します。

〈MIC〉：外部マイクを接続しているときに選択します。

〈+48V〉：外部マイクを接続し、マイクに電源を供給する必要があるときに選択します。

28 〈INPUT 2〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 2〉 端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

〈LINE〉：ライン入力オーディオ機器を接続しているときに選択します。

〈MIC〉：外部マイクを接続しているときに選択します。

〈+48V〉：外部マイクを接続し、マイクに電源を供給する必要があるときに選択します。

29 〈AUDIO LEVEL CH1〉 つまみ

音声チャンネル 1 の録音レベルを調整します。

30 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみ

音声チャンネル 2 の録音レベルを調整します。

31 〈CH1 SELECT〉 スイッチ

音声チャンネル 1 に記録する音声を選択します。

〈INT (L)〉：内蔵マイクの左音声を記録します。

〈INPUT 1〉：〈AUDIO INPUT 1〉 端子からの入力信号を記録します。

〈INPUT 2〉：〈AUDIO INPUT 2〉 端子からの入力信号を記録します。

32 <CH2 SELECT> スイッチ

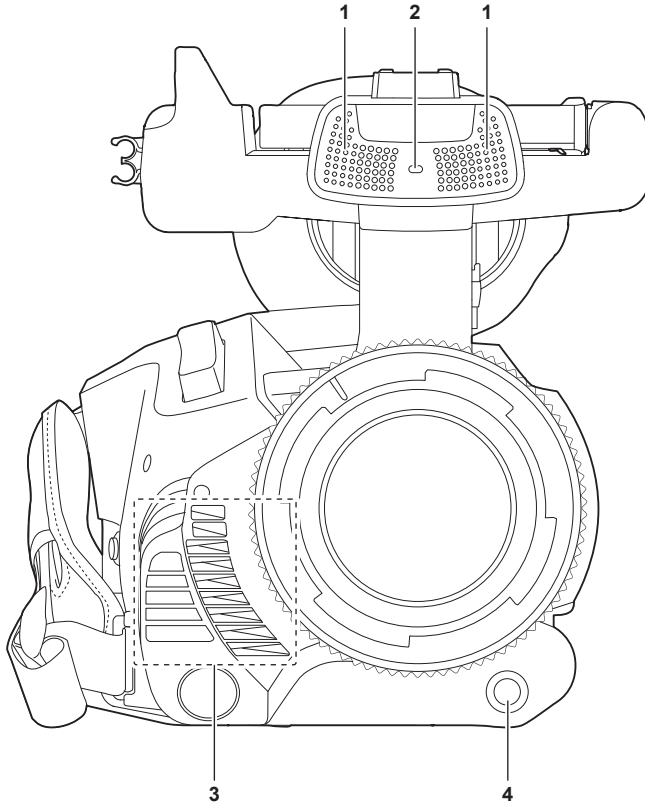
音声チャンネル 2 に記録する音声を選択します。

<INT (R)> : 内蔵マイクの右音声を選択します。

<INPUT1> : <AUDIO INPUT 1> 端子からの入力信号を記録します。

<INPUT2> : <AUDIO INPUT 2> 端子からの入力信号を記録します。

前面部



1 内蔵マイク

内蔵のステレオマイク <L> / <R> です。

2 フロントタリーランプ

記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときなどに点滅します。ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

3 排気口

冷却用ファンの排気口です。本機を使用しているときは、ふさがないでください。

4 <AWB> / <USER 7> ボタン

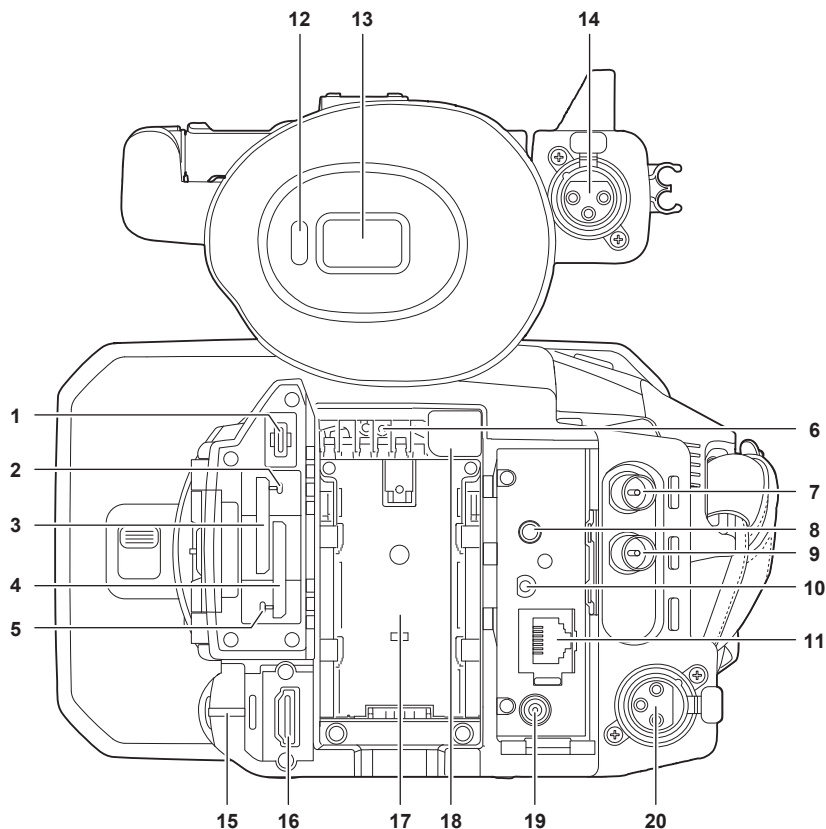
ホワイトバランスを調整します。約 2 秒以上ボタンを押すと、ホワイトバランス調整に続いて、ブラックバランスを調整します。

また、USER ボタン (USER7) としても使用します。

後面部

次の端子、カードスロット、カードアクセスランプは、各カバー内部にあります。

- 〈USB3.0 DEVICE〉端子
- 〈AV OUT〉端子
- 〈REMOTE〉端子
- 〈LAN〉端子
- 〈HDMI〉端子
- 〈DC IN 12V〉端子



1 〈USB3.0 DEVICE〉端子

パーソナルコンピュータと USB タイプ C ケーブルで接続してデータ転送ができます。

2 カード 1 アクセスランプ

カードスロット 1 に挿入したメモリーカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

3 カードスロット 1

メモリーカードのスロットです。

4 カードスロット 2

メモリーカードのスロットです。

5 カード2 アクセ斯拉ンプ

カードスロット2に挿入したメモリーカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

6 吸気口

冷却用ファンの吸気口です。本機を使用しているときは、ふさがないようにください。

7 〈SDI OUT〉 端子

モニターなどを接続して、SDI信号を出力する端子です。

8 〈AV OUT〉 端子

外部モニター用の映像と音声の出力端子です。

9 〈TC IN/OUT〉 端子

外部機器と接続して、タイムコードを入力/出力します。
タイムコードを外部機器とロックするときに、基準となるタイムコードを入力します。
入力および出力は、[記録]メニュー→[TC/UB]→[TC入出力選択]で設定します。

10 〈REMOTE〉 端子

リモートコントロールユニット（別売品）を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。

11 〈LAN〉 端子

LANケーブルを接続します。

12 アイセンサー

目を近づけるとビューファインダーに画面を表示します。

13 ビューファインダー**14 〈AUDIO INPUT 1〉 端子 (XLR、3ピン)**

オーディオ機器、または外部マイクを接続します。

15 リアタリールランプ

記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときなどに点滅します。ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

16 〈HDMI〉 端子

モニターなどを接続して、映像信号を出力する端子です。

17 バッテリー取り付け部

バッテリーを取り付けます。

18 バッテリー取り外しボタン

バッテリーをカメラ本体から取り外すときに使用します。

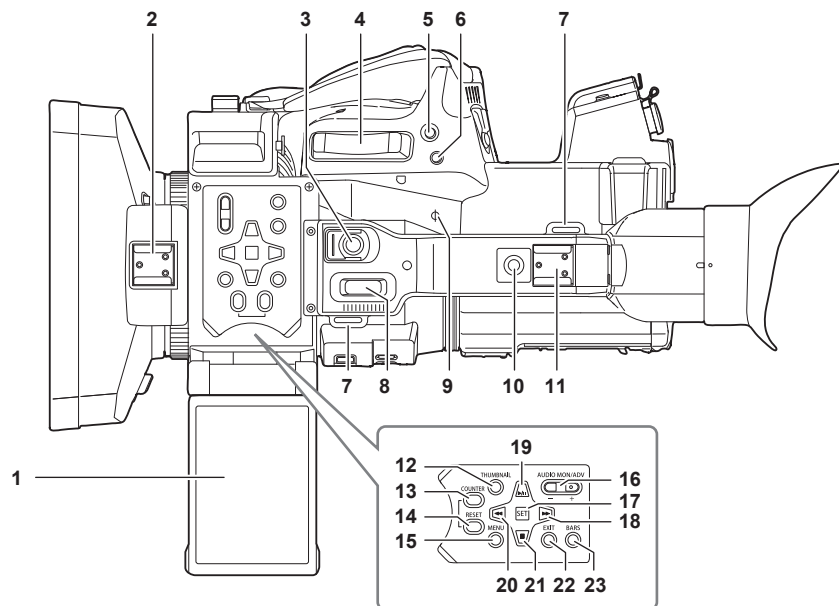
19 〈DC IN 12V〉 端子

付属のACアダプターを接続して、外部電源を供給します。

20 〈AUDIO INPUT 2〉 端子 (XLR、3ピン)

オーディオ機器、または外部マイクを接続します。

上面部



- 1 液晶モニター
- 2 ライトシュー
ビデオライトなどを取り付けます。
- 3 REC ボタン (ハンドル側)
記録を開始、または停止します。
ホールド機構付きです。
- 4 ズームレバー (グリップ側)
映像のズームを調整します。
〈T〉：ズームインします。
〈W〉：ズームアウトします。
- 5 〈IRIS〉 / 〈USER 6〉 ボタン
レンズ絞りの調整方法を選択します。
また、USER ボタン (USER6) としても使用します。
- 6 〈REC CHECK〉 ボタン
録画を一時停止しているときにボタンを押すと、直前に撮影したクリップの映像・音声の最後の約 3 秒間を再生します。
- 7 ショルダーベルト取り付け部
付属のショルダーベルトを取り付けます。
- 8 ズームレバー (ハンドル側)
映像のズームを調整します。
〈T〉：ズームインします。
〈W〉：ズームアウトします。
- 9 焦点マーク 〈Φ〉
MOS センサーの焦点位置を示します。被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

10 ハンドル取り付け穴

ハンドルを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ
- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

11 アクセサリーシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

12 〈THUMBNAIL〉 ボタン

ボタンを押すと、液晶モニターおよびビューファインダー画面にサムネール画面を表示します。再度押すと通常の表示に戻ります。

13 〈COUNTER〉 ボタン

カウンターの表示内容を切り替えます。

14 〈RESET〉 ボタン

タイムカウンター表示をリセット、またはキーボード画面で入力値をクリアします。

15 〈MENU〉 ボタン

メニューを表示します。メニューを表示しているときに〈MENU〉ボタンを押すと、メニューを閉じます。サムネール表示中に押すと、サムネールメニューの操作画面が表示され、クリップの削除などができます。

16 〈AUDIO MON/ADV〉 ボタン

再生中、記録中、記録待機中に、モニター音声の音量を調整します。

- 〈+〉：モニター音声の音量を大きくします。一時停止中に押すと、コマ送りします。
- 〈-〉：モニター音声の音量を小さくします。一時停止中に押すと、コマ戻しします。

17 〈SET〉 ボタン

設定メニューやサムネールの操作を行います。

18 〈▶▶〉 ボタン

設定メニューやサムネールの操作を行います。

また、再生中に押すと早送り再生になります。

再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭にスキップします。

19 〈▶/■〉 ボタン

設定メニューやサムネールの操作を行います。

また、再生画像を見るときに押します。

再生中に押すと、再生を一時停止します。

再生の一時停止中、早送り再生中、早戻し再生中に押すと、再生を再開します。

20 〈◀◀〉 ボタン

設定メニューやサムネールの操作を行います。

また、再生中に押すと早戻し再生になります。

再生の一時停止状態のときに押すと、クリップの先頭にスキップします。

21 〈■〉 ボタン

設定メニューやサムネールの操作を行います。

また、再生中に再生を停止するときに押します。

22 〈EXIT〉 ボタン

メニューを表示しているときに、1 つ上の階層に戻ります。設定値を確定せずに〈EXIT〉ボタンを押すと、設定の変更は反映されません。

23 〈BARS〉 ボタン

カラーバーの入 / 切ボタンです。カラーバーはテストトーン (1 kHz) と連動します。

電源の供給

本機の電源には、バッテリー、または付属の AC アダプターが使用できます。

- 本機は、次のバッテリーに対応しています。(2024年4月現在)
 - AG-VBR59 (付属品 / 別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR89 (別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR118 (別売品、急速充電対応)
 - VW-VBD58 (別売品)

バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、バッテリーチャージャーで満充電してください。

予備のバッテリーを 1 個用意することをお勧めします。

- バッテリーの充電は、周囲の温度が 10℃～30℃ (バッテリーの温度も同様) のところで行うことをお勧めします。
- 付属の AC コードは、本機専用です。ほかの機器には使用しないでください。また、ほかの機器の AC コードを本機に使用しないでください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、2 個のバッテリーを同時に充電できます。また、急速充電対応バッテリーに対応しています。

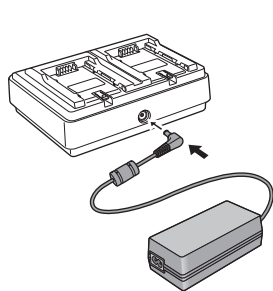


図 1

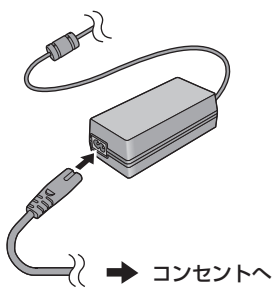


図 2

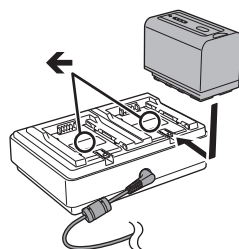


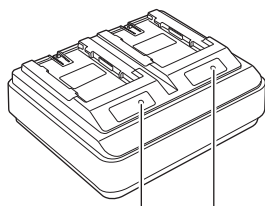
図 3

- 1 ACアダプターのDCプラグをバッテリーチャージャーの〈DC IN 12V〉端子に接続する。(図 1)
- 2 ACコードを AC アダプターに接続する。(図 2)
 - ACコードが奥に突き当たるまで差し込んでください。
- 3 電源プラグをコンセントに接続する。(図 2)
- 4 バッテリーチャージャーにバッテリーを取り付ける。(図 3)

バッテリーを取り付けた側の充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

 - ←マークに沿ってバッテリーを水平にのせてスライドさせてください。
 - 充電が完了すると、〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ (充電ランプ) が消灯します。バッテリーをスライドさせて取り外してください。

■ 〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプの表示



〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ

付属のバッテリーチャージャーの〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ（充電ランプ）は、充電の状態を次のように表示します。

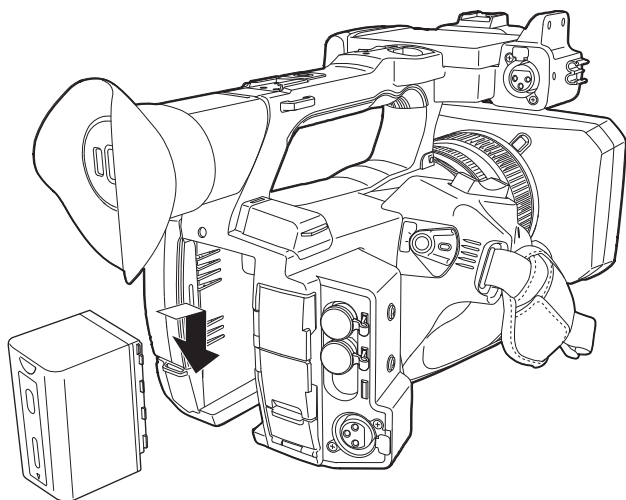
〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプの表示	充電の状態
緑色（点灯）	急速充電中
オレンジ色（点灯）	通常充電中
オレンジ色（点滅）	異常により充電を停止中
消灯	充電完了、またはバッテリーが取り付けられていない

NOTE

- ・バッテリーチャージャーは、バッテリーを取り付けたあとにバッテリーの状態を判断します。このため、充電ランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。10秒以上経過しても充電ランプが点灯しないときは、バッテリーを取り付け直してください。
- ・急速充電対応バッテリーが2個取り付けられた場合、〈CHARGE1〉側の急速充電が優先され、〈CHARGE2〉側は通常の充電になります。〈CHARGE1〉側のバッテリーの充電が進むと、自動的に〈CHARGE2〉側が急速充電に切り替わります。
また、バッテリーの充電状態により、〈CHARGE2〉側に取り付けたバッテリーのインジケーターが消灯することがあります。
- ・バッテリーチャージャーは、バッテリーの状態を判断してから最適な充電をします。充電が開始されると、急速充電対応バッテリーのインジケーターが点滅表示になります。また、〈CHARGE1〉側と〈CHARGE2〉側の両方で充電しているときに、どちらかのバッテリーを取り付け / 取り外したり、交換したりすると、両方の充電を中止します。再度、バッテリーの状態を判断してから充電を開始します。
- ・優先して充電するバッテリーは、〈CHARGE1〉側に取り付けて充電してください。

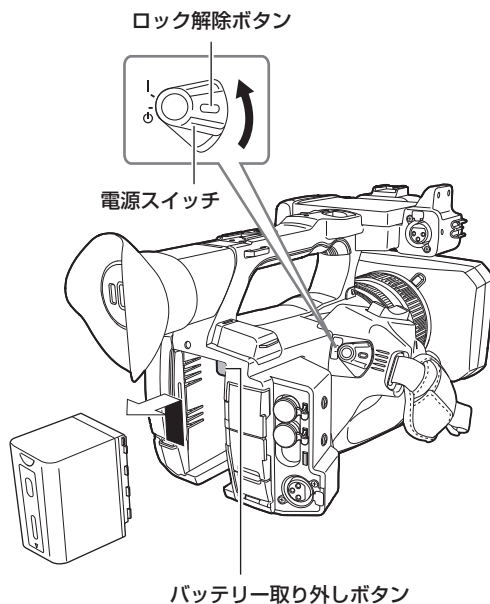
バッテリーの取り付け / 取り外し

バッテリーの取り付け



- 1 バッテリーをカメラ本体のバッテリー取り付け部に押し当て、下にスライドさせて取り付ける。
 - 「カチッ」と音がして、ロックがかかるまで押し込んでください。

バッテリーの取り外し

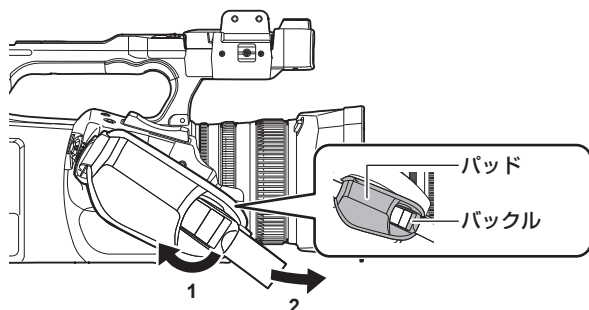


- 1** ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを $\langle \text{OFF} \rangle$ (スタンバイ) に合わせる。
液晶モニターが消灯したことを確認してください。
- 2** カメラ本体のバッテリー取り外しボタンを押しながら、バッテリーを上からスライドさせて取り外す。

付属品の取り付け

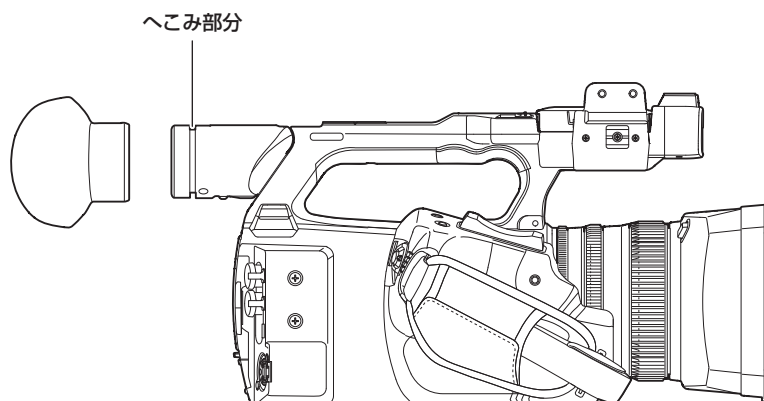
グリップベルトの調整

- グリップベルトを手の大きさに合わせて調整してください。
- グリップベルトは、あらかじめカメラ本体に取り付けられています。
- バックルが締めにくい場合は、パッドを前方へずらして締め直してください。



- 1 バックル部分を開く。
- 2 ベルトの先端を引っ張る。

アイカップの取り付け



- 1 アイカップ取り付け部のへこみ部分とアイカップ内側の突起部分が合わさるように取り付ける。

メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて本機の設定をメニューで変更できます。

設定されたデータは、本体メモリーに書き込まれ、保存されます。

- マルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

メニューの構成

メニューの種類と開き方

メニューの種類	用途	開き方
メニュー	使用目的や設定頻度などに応じて、カテゴリ別に階層化した構成になっています。	〈MENU〉ボタンを押すと表示します。
[オプション] メニュー	将来的な機能追加などを考慮した、特殊なメニューを準備しています。	〈EXIT〉ボタンを押しながら〈MENU〉ボタンを押すと表示します。

メニューの構成

[サムネール] メニュー	記録クリップの確認や削除などを行います。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときに、設定できます。
[カメラ] メニュー	カメラの基本機能を設定します。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。
[シーンファイル] メニュー	シーンファイルに関する設定をします。 このメニューでは、カメラ映像の細かな画質調整を設定します。また、シーンファイルの選択や、シーンファイルデータの本体メモリーへの書き込み、および本体メモリーからの読み込みができます。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。
[音声] メニュー	音声の入出力機能を設定します。
[映像出力 / LCD / VF] メニュー	外部出力や液晶モニター、ビューファインダーに表示する内容や出力フォーマットを設定します。
[記録] メニュー	記録機能の各種項目を設定します。
[ネットワーク] メニュー	ネットワーク機能に関する設定をします。
[システム] メニュー	映像、音声の記録フォーマットに関する設定をします。
[その他] メニュー	ユーザーファイルの内部メモリーへの書き込み / 読み込み / 初期化、本機の基本的な設定に関する設定をします。

よくある質問

■ 電源をく |) (入) にしても操作できません。

- 電源 (バッテリーまたは AC アダプター) を取り外し、約 1 分後に電源を再度取り付けてください。


■ カードスロットにメモリーカードを挿入しても、操作を受け付けません。

- 本機で使用するメモリーカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
パーソナルコンピュータでフォーマットされたメモリーカードは、本機では使用できません。



■ 撮影が勝手に止まってしまい、撮影ができません。

- 記録フォーマットを MOV 形式に設定したときは、SDXC メモリーカード、microP2 カード B シリーズ、および 64 GB の microP2 カード A シリーズを使用してください。MOV 形式のデータは、SDHC メモリーカード、および 32 GB の microP2 カード A シリーズには記録できません。
- 記録ビットレートに応じて、必要なスピードクラスのメモリーカードを使用してください。

■ クリップが再生できません。

- サムネール画面で  が表示されているクリップは再生できません。

 は、次のようなクリップに表示されます。

- ほかの機器で撮影されたクリップ、編集ソフトにより編集されたクリップ
- 壊れているクリップ
- システム周波数が異なるクリップは、サムネール画面のクリップに   が表示されます。システム周波数を変更してください。
- 記録ファイルフォーマット (P2/MOV/AVCHD) が異なるクリップは、サムネール画面に表示されません。記録ファイルフォーマットを変更してください。

本機搭載ファームウェアのアップデート

[その他] メニュー → [本体情報] → [バージョン] で本機のファームウェアバージョンを確認のうえ、NOTE に記載された Web サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

NOTE

- アップデートはダウンロードしたファイルを、メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデートファイルを格納したメモリーカードをカードスロット 1 に入れ、[その他] メニュー → [本体情報] → [アップデート] を選択してください。アップデート方法については次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
- ファームウェアのアップデートを行う場合は、AC アダプターを使用、もしくは十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- ファームウェアのアップデート中は電源を切らないでください。ファームウェアの書き換えに失敗して、起動しなくなることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（本書に付属）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、メモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-CX350
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

定格の詳細内容については、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (HTML) を参照してください。

総合

電源

DC === 7.28 V (バッテリー使用時)

DC === 12 V (AC アダプター使用時)

消費電力

17 W (液晶モニター使用時)

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量	約 1.9 kg (カメラ本体のみ、レンズフード、バッテリーおよび付属品を除く) 約 2.3 kg (レンズフード、バッテリー、マイクホルダーの付属品を含む)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	カメラ本体 (レンズフード含む) 180 mm × 173 mm × 311 mm (アイカップ、突起部分を除く)

AC アダプター

定格入力

AC ~ 100 V - 240 V, 50 Hz/60 Hz, 1.2 A

定格出力

DC === 12 V, 3.0 A

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 90% (相対湿度、結露なし)
質量	約 225 g
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	115 mm × 37 mm × 57 mm (DC コード部を除く)

バッテリーチャージャー (AG-BRD50)

入力電圧

DC === 12 V, 3.0 A

出力電圧

DC === 8.4 V, 4.0 A

は安全項目です。

充電電流	最大 4,000 mA
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量	約 230 g

定格

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	130 mm×48 mm×107 mm
--------------------	---------------------

バッテリーパック (AG-VBR59)

電圧 / 容量

DC === 7.28 V/5900 mAh 43 Wh

は安全項目です。

充電電流	最大 4,000 mA
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量	約 230 g
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	41.3 mm×51.3 mm×69.6 mm

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費
5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

メモリーカードカメラレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は〈無料修理規定〉をご参照ください。

品番	AG-CX350		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
* お買い上げ日	年 月 日		
* お客様	ご住所 _____		
	お名前 _____ 様		
	電話 () -		
* 販売店	住所・販売店名 _____		
	電話 () -		

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233